

医療ものづくり都市構想

目指すべき方向性

研究開発型ものづくり企業が医療機器関連分野への新規参入や事業拡大を果たし、地域経済の新たな成長エンジンを形成すると同時に、臨床現場に技術面から貢献することで、地域社会全体のQOL(Quality Of Life: 生活の質)が向上していく「医療ものづくり都市」を創造します。

施策名

- 1 医工連携プラットフォームづくりと研究実験室設置
- 2 医療機器の国際連携の強化・拡充

【事業概要】

①「さいたま医療ものづくり都市構想」及び「第1期行動計画」に沿って、地域に集積する研究開発型ものづくり企業の医療機器関連分野への新規参入・事業拡大を促進する。このため、推進懇話会、コーディネーターなど推進体制を整備するほか、学会や医療機関等の臨床現場との連携を促進し、ポテンシャル企業、リーディング企業に適した支援制度を整備する。また、研究共同体による医療機器開発を促進するための試作開発ラボを整備する。

【目指すもの】

①-1 平成26年度～平成34年度において、新規参入・事業拡大支援125件(年間10件×2年、年間15件×7年)を目指す。

①-2 平成26年度～平成34年度において、産学官医の連携促進支援45件(年間5件×9年)を目指す。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
(1) 推進体制の整備	懇話会の設置 コーディネータ確保とスキルアップ研修	懇話会の運営 コーディネータによるマッチング活動、企業支援			支援のプラットフォーム構築等の推進	構想終了後の新たな取組
(2) 臨床現場との連携促進	医療ものづくりフォーラムの実施(平成24年度～) レーザー医学会・小児外科学会との連携	連携学会・医療機関等の拡充				
(3) 企業支援策の整備(ポテンシャル企業支援)	医療ものづくり道場開講	道場のテーマ拡充 ポテンシャル企業支援策の整備			・新規参入・事業拡大支援	
(4) 企業支援策の整備(リーディング企業支援)	試作開発ラボ整備(平成25年11月)	試作開発支援策の整備、リーディング企業支援の拡充 試作開発ラボによる共同研究体支援			・産学官医の連携促進支援	
(5) 構想の進捗管理	第1期行動計画の推進(平成24年度～28年度)				第2期行動計画の策定(H22～H33) 構想の検討と新たな取組検討	
				第1期の総括と第2期行動計画の策定(H28)		

(2)～(4)平成25年度末における新規参入・事業拡大支援件数は、10件である。

(2)～(4)平成25年度末における産学官医の連携促進件数は、7件である。

1

【事業概要】

①「さいたま医療ものづくり都市構想」及び「第1期行動計画」に沿って、地域に集積する研究開発型ものづくりの医療機器関連分野への新規参入・事業拡大を促進する。このため、医療機器の国際連携の強化・拡充については、交流が進展するドイツの医療機器クラスターとの連携を中軸とした国際展開支援策を整備する。

【目指すもの】

①-1 平成26～34年度において、ドイツ産業クラスターとのビジネス交流支援件数90件(年間10件×9年)を目指す。このうち、医療クラスターとの交流支援45件を目指す。

①-2 平成26～34年度において、展示会等を通じた海外販路開拓支援件数90件(年間10件×9年)を目指す。このうち、医療機器展示会出展支援45件を目指す。

(1)ドイツ産業クラスターとのビジネス交流については、平成25年度末における支援件数が36件(うち医療クラスター25件)となった。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29～平成34年度	平成35年度～
2 (1)ドイツ産業クラスターとの交流によるビジネス交流支援(再掲 戦略企業誘致と国際展開支援 市内中小企業の国際展開支援の拡充)	JETRO RIT事業によるドイツ産業クラスターとの交流(平成23年度～)	ドイツ産業クラスターとの交流継続による商談・技術交流支援			ドイツ・欧州企業との商談・技術交流支援	ドイツ・欧州企業との商談・技術交流支援
		欧州におけるビジネス支援体制の検討	現地支援体制の整備			
(2)展示会等を通じた海外販路開拓(再掲 戦略企業誘致と国際展開支援 市内中小企業の国際展開支援の拡充)		ドイツにおける世界規模の展示会等を通じた海外販路開拓支援			海外展示会等を通じた海外販路開拓支援	海外展示会等を通じた海外販路開拓支援